

心臓カテーテル装置更新

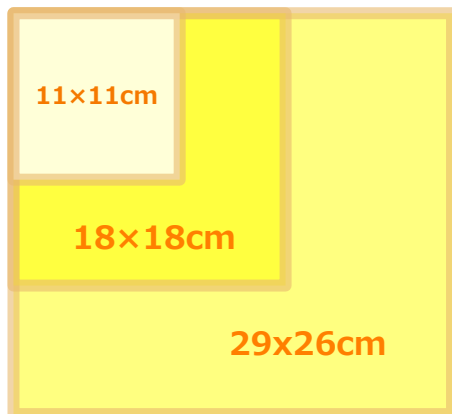


2007

Allura FD10

フラットディテクタ

18×18cm



導入から10年以上が経過し
ステントグラト・アブレーションなどの
検査・治療への対応



2017

Allura Centron

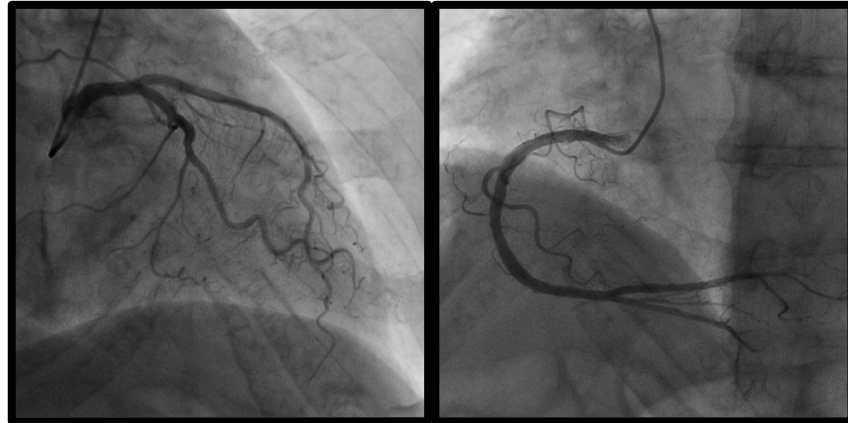
次世代フラットパネル検出器

29x26cmの最大視野サイズから7段階の切り替えにより
最小11x11cmまで絞れ、
心臓や下肢を中心に頭腹部領域まで
多様な臨床症例に対応

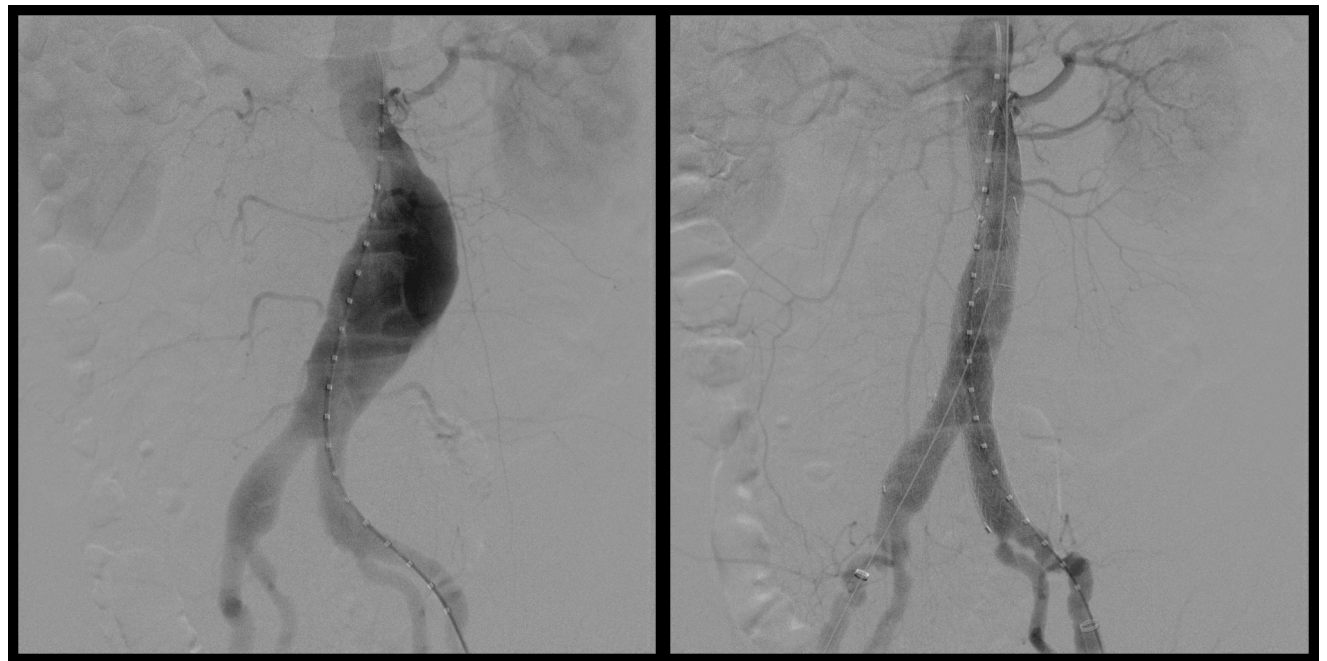
FPDサイズの拡大

18cm×18cm

29cm×26cm

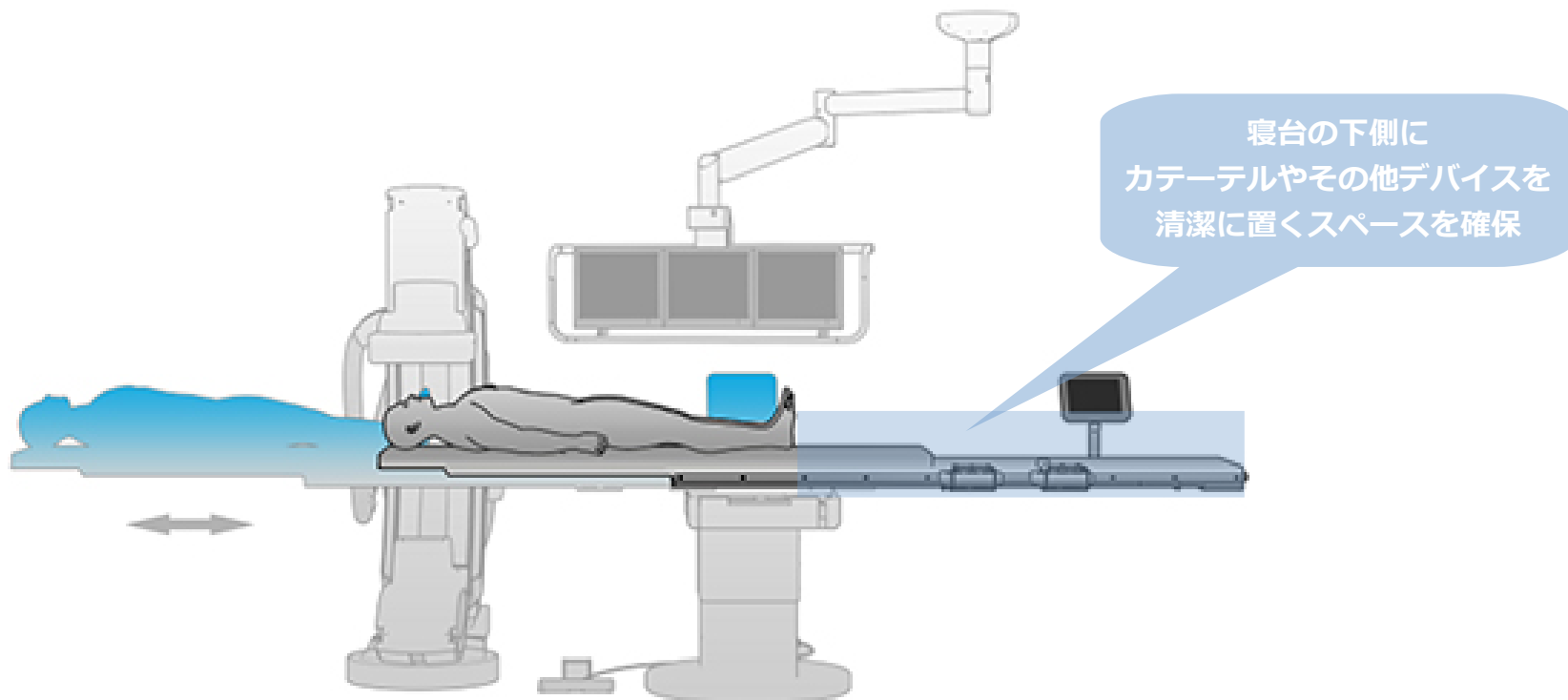


腎動脈から
分岐部までを
カバーする大きさ



撮影寝台の拡大

- 全下肢領域をカバーする，ロングカテーテル寝台
- 365cmのテーブル長に加え最大移動距離172cmを実現。
- テーブルトップのパニングだけで全下肢領域を容易にカバー可能



4Kモニター導入

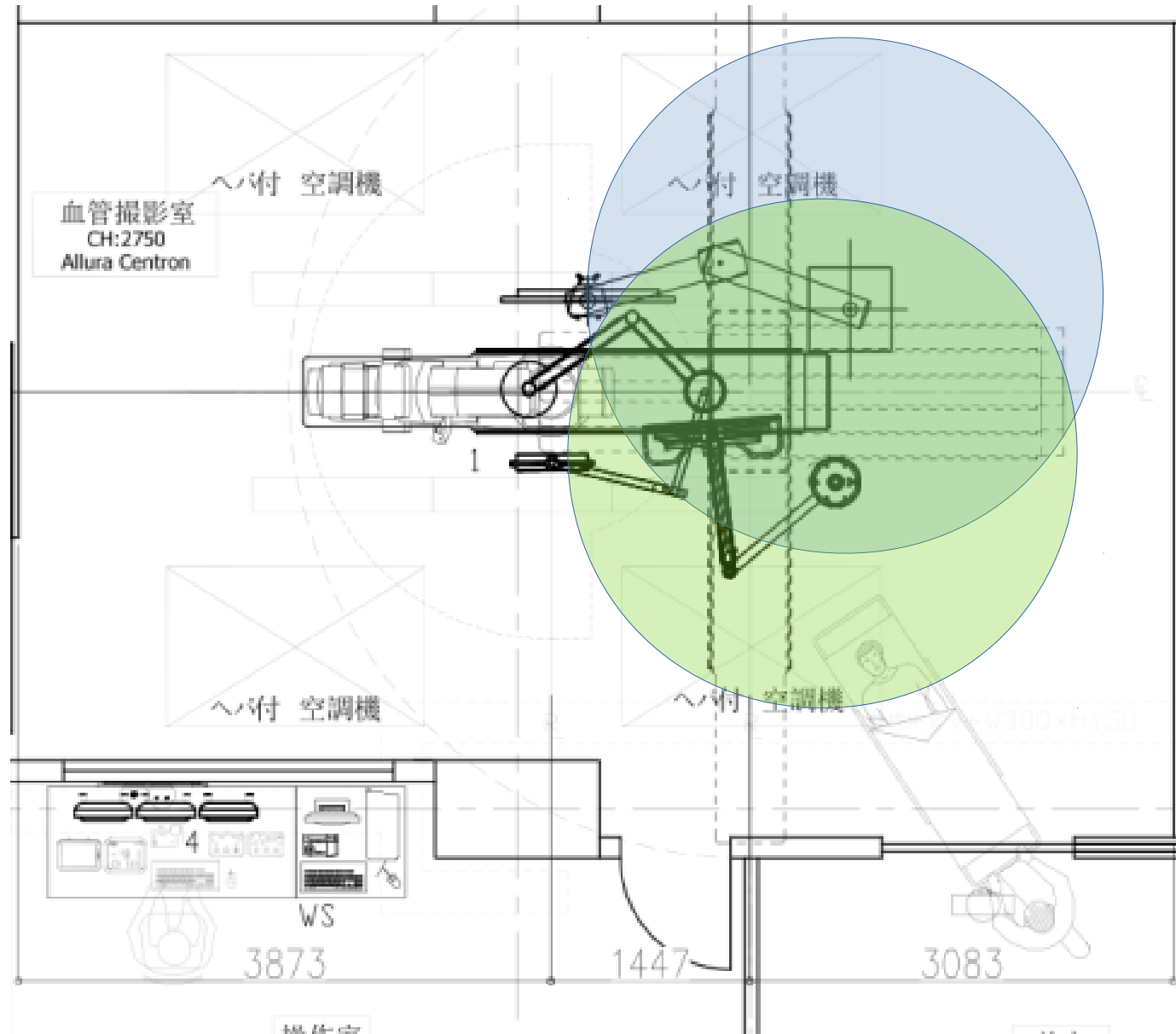


多くの検査機器が検査に必要
すべての情報を切り替えなく表示し
対面表示にも対応可能

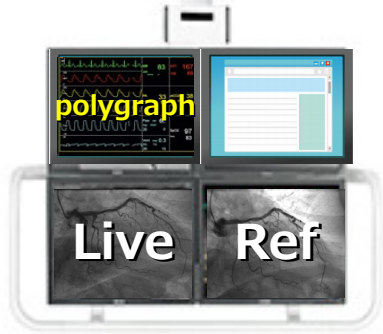
(ステントグラフト手術時はテーブル両サイドに医師が従事するため)

BARCO

ステントグラフト挿入手術時 対面表示



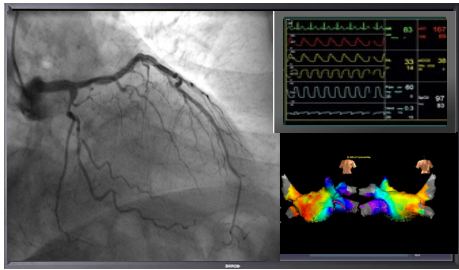
すべての機器からの画像信号を 切り替え無しで表示



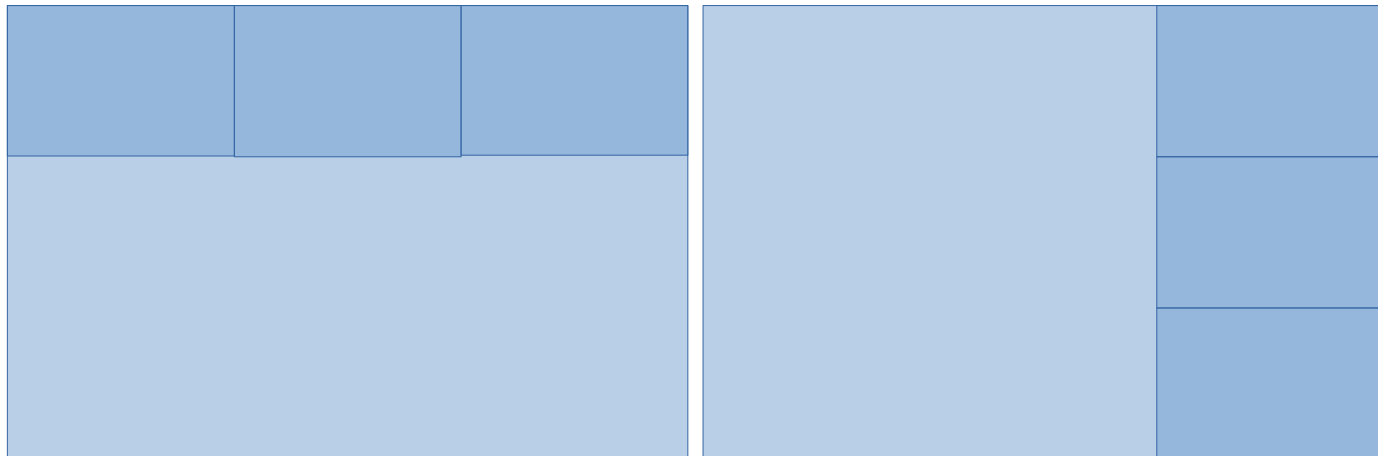
21inch x 2 2Mモニター
いろいろなモダリティ画像表示に変更可能

55inch 4Kモニター

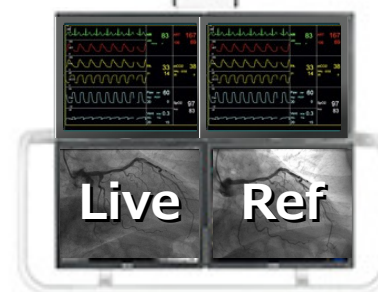
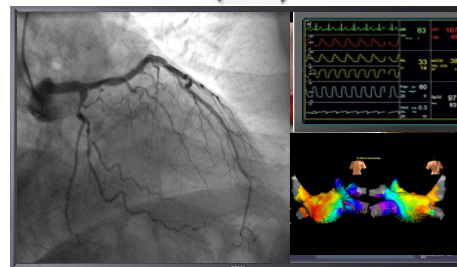
1~4分割で自由なレイアウト



大画面表示



すべての情報を同時に表示可能



4Kモニター設置後はアブレーションや
ステントグラフト挿入手術に対応

